

**方針案**：地域住民が高齢者を支える地域づくりについて主体的に検討する場を設けて、地域の諸団体との連携を深め、目指す地域像を共有する。「高齢者のこれからの考える交流会」等で出された意見の具現化に向けて、地域住民が生活支援コーディネーターや CSW、地域包括支援センター、福祉施設などとも連携・協力し、課題を整理しながら地域で必要とされる活動の創出を目指す。

地域へのアプローチ

【取り組むテーマ】	【協議会で出された主な意見など】	【これからの具体的な取り組み（案）】	【現在の進捗状況】
<p>地域ごとで高齢者を支える地域づくりを考える ～高齢者のこれからの考える交流会～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題や良い所（活動）を共有し「あったらいいな」を思う活動を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に窓口があれば、そこが中心となって動きやすい。例えば、地域包括は福祉委員と連携もできているし、困りごとの情報も集まってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ひきつき地域での開催を働きかけ「集いの場」の拡充や助け合い活動について検討する。</li> <li>②地域での成功事例などをまとめたヒント集を参考にして検討をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>○実施済</b> 今後も継続して開催し住民同士の助け合いについて検討していく。</li> <li>② <b>×未実施</b> 今後作成する。作成後は高齢者のこれからの考える交流会などで活用する。</li> </ul>
<p>「集いの場」の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が身近に気軽に集う居場所「集いの場」の拡充を通じて互いに顔の見える関係を築いていく。</li> <li>困りごとを相談できる。困りごとの声を集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題は「場所」「担い手」「内容のマンネリ化」</li> <li>今活動している方々に、活動に参加することで健康づくりや地域の活性化につながっていることなどを伝え、自分の活動に意味づけすることでモチベーション向上につながる。</li> <li>高齢者生きがい活動センターでは、いろんな講座をしており、講師を紹介できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③社会福祉施設等の地域貢献として、提供できる「場所」「内容」「講師派遣」などの情報を集約し、活用をしていく。CSW 等が窓口となり地域の活動にコーディネートしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ <b>○作成済</b> 集いの場リストの作成・更新。 吹田市社協 施設連絡会の協力一覧表を活用して CSW がコーディネート中。 吹田市も場所等の地域資源の活用方法を検討中。</li> </ul>
<p>助け合い活動の検討、創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス作りの視点で進めるのではなく、「健康づくり」「生きがいづくり」の視点で検討を進める。</li> <li>地域住民に助け合い活動が必要と感じてもらい、地域住民ができることを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知らない人が家に入ることに抵抗がある。</li> <li>支える活動ができれば、活動したいと思う人も増えるのではないかな。</li> <li>地区別に困りごとリストを作り、地区別に協力者を募ることができないか。</li> <li>困っていることを言えない方のニーズや地域のつながりを拒みがちな方のニーズなど困りごとの掘り起こしが必要だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④地域での「集いの場」で繋がり の充実を図る。</li> <li>⑤地域ごとで「生活支援」の取り組みについて、検討し、できることから進めていく。進めていくプロセスとしての具体案を作成し、参考にしてもらう。</li> <li>⑥ひきこもりがちな方のニーズを地域包括や社協がアプローチ、アウトリーチしていく取り組みを継続していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ <b>△継続中</b> 集いの場交流会などで呼びかけ、充実を図る。</li> <li>⑤ <b>△継続中</b> 高齢者のこれからの考える交流会などを通して検討していく。 ※進めていくプロセスは作成済。</li> <li>⑥ <b>△継続中</b> 地域包括と CSW の意見交換会などで引き続き共有していく。</li> </ul>

**方針案**：「今ある活動」や「吹田の強み」を活かしていく視点で、地域での支え合いの活動を検討していくとともに、オール吹田での支え合い活動として、新たな担い手の養成や今あるつながりを活かしたボランティアグループの創出などを検討する。多様な機会で、アクティブシニアに向けた地域活動、社会参加を推進するための働きかけをしていく。

	【取り組むテーマ】	【協議会で出された主な意見など】	【これからの具体的な取り組み（案）】	【現在の進捗状況】
全市を対象にしたアプローチ	<p>「今ある活動」「吹田の強み」を活かし、高齢者を支える地域づくりを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地縁型、志縁型のさまざまな活動を活かす。</li> <li>・「今ある」仕組みや取り組みを活用し、支え合い活動に多くの方に参加してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス作りではなく、「健康づくり」や「生きがいづくり」をキーワードにする。</li> <li>・「今ある活動」をより PR をし、活用しやすくしていくことが必要だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦「生活支援サービス」などの社会資源リストを作成し、活用をしていく。</li> <li>⑧ボランティアセンターと連携し生活支援をサポートしていくボランティアグループの創出について検討をする。</li> <li>⑨介護支援サポーターの仕組みを活用した取り組みについて検討する。</li> <li>⑩「集いの場」交流会を開催し、それぞれの活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ <b>○作成済</b> 関係機関やホームページで公開済。</li> <li>⑧ <b>△検討中</b> 資料 6-1、6-2 参照。</li> <li>⑨ <b>×未実施</b> 現行の介護支援サポーター事業の充実を進める。</li> <li>⑩ <b>○実施済</b> 継続して開催する。集いの場での助け合いを醸成する。</li> </ul>
	<p>「我が事」として、地域で高齢者を支えていく機運を高める取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な機会で地域活動や社会活動に参加を呼びかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに支援をしたり、支援をされたりすることによっての相互実現を目指す。</li> <li>・働きかけが必要なところに、必要な周知をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪ 3月12日支え合いの地域づくりフォーラムを実施し、市民が自分たちの問題として考えていく主体性を高めていく。</li> <li>⑫地域活動、社会参加を促す「シニア世代のための活動場所一覧」を作成し、高齢者の集まる機会などで配布、周知をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪ <b>○実施済</b> 今年度も開催予定。</li> <li>⑫ <b>○作成済</b> 関係機関やホームページで公開済。</li> </ul>
地域・全市共通項目	<p>地域活動の担い手を増やすための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今活動している人の仲間を増やす</li> <li>・無関心層への働きかけ</li> <li>・新たな担い手が増えれば、現在の活動の継続や新たな活動の検討や活動の幅が増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者、退職者の地域デビュー作戦</li> <li>・地域包括支援センターは、自治会などのさされている茶話会などを「伴走型支援」していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑬吹田市内で他団体連携などの好事例の情報を収集しヒント集としてまとめ、他地区での参考にしてもらう。</li> <li>⑭小地域を単位とした「地域福祉講座」を実施し、地域福祉に関心をもってもらい、活動の担い手を増やしていくことを目指す。</li> <li>⑮担い手の確保について、地域で取り組めること、全市で取り組めることを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑬ <b>×未実施</b> ②同様に作成し、活用していく。</li> <li>⑭ <b>△検討中</b> 資料 5 参照。</li> <li>⑮ <b>△継続中</b> 本協議会で⑭同様に検討し実施する。また高齢者のこれからを考える交流会などでも引き続き検討する。</li> </ul>

